|  |  |
| --- | --- |
| ホットライン |  |
|  |

令和　　年　　月　　日

８コースをはじめる前に

○○○中学校

　７コースを終えて、ほっと一息。というような気分ではないですね。何となく追いかけられるような、そんな時期だと思います。

　１・２年の復習は６コースで終了しましたが、復習もしっかりやっていますか。１度学習したから、それで終わりということではありません。何回も繰り返し学習してこそ、しっかりした学力が身につくのです。

　ところで、人間が何かをするとき、心に誓いを立て、あるいは決心してがんばると、そこに大きな力が働き、がんばった後もスッキリした気持ちになるものです。

　次に挙げる話は、陸上競技における２人の選手の話です。１９９１年８月２５日、カール・ルイスが100mで９秒８６の世界記録を出しました。そして、この時、２位のリーロイ・バレルも９秒８８の世界記録を出しました。

　この時、２位のリーロイ・バレルのインタビューで、「カールは私よりも多くの勝つだけの努力をしていた。だから勝ったんだ。」という意味のことをいいました。

　努力にまさる天才なし、という言葉もあります。どんなに世界一流の人でも、それなりの努力がなければ結果が得られないのです。努力のレベルで、勝ち負けは決まるのです。お互いの努力を認め合うからこそ、お互いに尊敬しあい、兄弟のように肩を組んでウィニングランができたのです。

　１つのレースのかげには、いろいろなドラマがあります。人の目には触れない、しかし、その人にとっては、かけがえのないドラマがあると思います。

　はなやかな舞台、そこで競い合うプレイヤーの中に、あるいは競技に出ていない人に、あるいは競技自体に縁のない人々の１人１人に、大きなドラマがあるのです。そしてドラマには、人との出会い、何かとの出会いがあるものです。「試練を乗り越えられない者に、神は試練を与えない」いい言葉ですね。

　きみたちは、いまどんなドラマを演じているか、どんな試練に立ち向かっているか、考えてみてください。

　「シート教材」で勉強していること、これも一つの出会いです。この教材とどう格闘していくか、そこにどんなドラマがあるかを…。

|  |
| --- |
| ８コースに入る前に、心に誓うこと、決意を書いておこう。 |